X　就　職　に　つ　い　て

なぜ早くから卒業後の進路を考え始めるといいのか？

皆さんは、卒業後の進路について考えていますか？　１・２年生は、「もう卒業後の話⁉」と思うかもしれません。もちろん、将来のことについて、必要以上に焦りや不安を抱く必要はありません。

しかし、早いうちからぜひ知っておいて欲しいことがあります。それは、もし大学卒業後に「就職」するなら、「大学時代に、何か目標に向かって挑戦したり打ち込んだりした経験があるかどうかが大きな意味を持つ」ということです。

大学時代を特に何もせずに過ごしてきた人が、就職活動で急にやる気を出したとしても、望むような結果はなかなか出ないかもしれません。なぜなら、就職活動では大抵「大学時代に力を入れたことは何か？」「何を目標に、どのような努力をし、どんな成果を得たのか？」「その経験であなたはどう成長したのか？」など、大学時代の過ごし方そのものが問われるからです。

そういう意識を持って毎日を過ごしてきた人とそうでない人とでは、結果は大きく異なるはずです。そういう意味では、本格的な就職活動はまだ先だとしても、低学年のうちから、既に就職活動の基礎固めは始まっているとも言えます。

卒業後はどんな進路の選択肢があるのか？

●「就職」

本学では例年卒業後は就職する学生が多数を占めます。日本では新卒一括採用を行なう企業等が圧倒的に多く、新卒で就職活動をするのが最も選択肢が多く有利とされる状況があることや、経済的自立の必要性などがその主な理由でしょう。

就職先は実に様々です。大まかに分けると「民間企業など（専門職以外）」「公務員」「教員」「専門職（福祉・栄養・保育関係）」になりますが、どういう就職先を選ぶかは、その人の興味関心・適性・希望などにより異なります。特別な専門知識や技術を要する仕事以外は、学部学科を問わず募集されることも多く、能力や適性を基に選考されています。

●「進学」

本学では少数ですが、専門分野の研究等を更に進めるため「進学（大学院など）」や「留学」を選択する学生もいます。進学や留学を選ぶ場合も、その後いつかは社会に出ることになりますので、事前に「修めた学問や専門性をその後どう生かすのか」の見通しを立てて考えることが大事です。担当教員に相談するほか、学費負担など検討すべきこともあるため、ご家族など関係者にも事前に相談のうえ検討することをお薦めします。

●「その他」

本学ではごく僅かですが、結婚して家庭に入る、音楽など特定分野で培ってきた能力等で仕事をしていくことを目指す学生などもいます。

大学ホームページに本学卒業生の「就職・進路」の情報を掲載していますので、参考までにご覧ください。ただし、データはあくまでも先輩達の進路選択の結果に過ぎません。

大学卒業後の進路選択は、長い人生の中でも大きな決断の一つです。世の中の状況や仕事に関する情報や知識を得る努力をしたうえで考えなければ、「どんな選択肢があるか知らない」「判断のための材料を持っていない」ということになります。また、自分の特性も把握できていなければ、表面的なイメージや世間の評判といった不確かなものだけに頼った進路選択をしがちで、その結果ミスマッチも起きやすくなります。就職でのミスマッチとは、「会社等が求めるものと自分の特性が合わず採用されない」「考えていた仕事と違ったという理由で就職後に早期離職してしまう」といったことです。

本学では１年生から、皆さんの進路選択や自己理解、就職のための基礎力向上に役立てていただくための様々な支援を行っています。ぜひ積極的に参加してください。

本学のキャリア支援・就職支援について

１年生の後期に、全学生対象のキャリア支援教育科目「女性とキャリア」（必修）が開講します。詳しくはシラバスをご覧ください。続く２年生では、職業興味検査（VPI）や、社会人として必要な基礎的スキルを身につけるためのワーク等に取り組む講座を行っています。３年生からは、就職を目指す方を対象に本格的な就職支援行事が始まります（398～399ページのスケジュール参照）。就職活動の流れを踏まえ、その時々に必要な準備や情報・アドバイスをお伝えしていきますので、ぜひ参加してください。

その他にも、個別の相談対応を常時行いながら、皆さんの活動をサポートします。進路全般に関する疑問や不安の相談も受け付けています。学年を問わず、遠慮なく各キャンパスのキャリア支援課を利用してください。

【キャリア支援・就職支援行事のお知らせ方法】

１・２年生および全学年対象の行事予定は、ポータルサイト「F-Station」に掲載します。

３年生からは、「藤女子大学キャリアナビ（F-NAVI）」の利用登録をしていただきます（５～６月）。その後は、３・４年生対象の行事予定や就職関連情報は「藤女子大学キャリアナビ（F-NAVI）」に掲載します。こまめにチェックするようにしてください。

【求職手続きについて】

キャリア支援課は、職業安定法第33条第２項（学校の行う職業紹介事業）に基づき、就職の斡旋を行っています。就職を希望する学生は、所定の時期（３年次）に、「藤女子大学キャリアナビ（F-NAVI）」に登録するとともに、「進路就職調査票」を提出しなければなりません。

【キャリア支援課受付時間】

平日　8：50～17：00　　土曜日　8：50～12：30

キャリア支援室には、求人票、進路選択・就職試験などに役立つ書籍や資料があります。学年を問わず活用してください。

【主な就職支援行事】

・キャリア支援教育科目（1年生）　・職業興味検査（2年生）　・就職基礎力養成講座（2年生）・資格取得支援講座紹介（全学年）　・就職ガイダンス（3年生）　・マナー講座（2・3年生）・インターンシップ紹介（3年生）　・就職コンサルタントによる就職講演会（3年生）　・公務員対策講座（1～3年生）　・適性検査対策講座および模擬試験（3年生）　・学内業界研究会（3年生）　・OG懇談会、先輩報告会（2・3年生）　・学内企業説明会（3・4年生）

「就職」の場で何が評価されているのか？

「社会人基礎力」という言葉をご存知ですか？　経済産業省が、社会で求められる能力、働くのに必要な能力を具体的にまとめて発表したものですが、「基礎学力」「専門知識」「人間性・基本的な生活習慣」と合わせて、この「社会人基礎力」が必要だとされています。9割以上の企業が、採用で「社会人基礎力」を重視しているという調査結果もあります。

【社会人基礎力】※3つの大きな能力で構成され、能力は12の要素に分類される。

●「前に踏み出す力（アクション）」～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～

・主体性：物事に進んで取り組む力
・働きかけ力：他人に働きかけ巻き込む力
・実行力：目的を設定し確実に行動する力

●「考え抜く力（シンキング）」～疑問を持ち、考え抜く力～

・課題発見力：現状を分析し目的や課題を明らかにする力
・計画力：課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
・創造力：新しい価値を生み出す力

●「チームで働く力（チームワーク）」～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～

・発信力：自分の意見をわかりやすく伝える力
・傾聴力：相手の意見を丁寧に聴く力
・柔軟性：意見の違いや立場の違いを理解する力
・状況把握力：自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
・規律性：社会のルールや人との約束を守る力
・ストレスコントロール力：ストレスの発生源に対応する力

大学時代はぜひ、学業・部活動・サークル活動・留学・ボランティア・アルバイト・資格取得など興味を持てることを探し、目標を掲げて一生懸命打ち込んでみることをお薦めします。その経験は、皆さんの「社会人基礎力」を向上させ、評価を高める絶好のチャンスでもあります。

挑戦には苦労や困難がつきものですが、「チャレンジする姿勢」「困難を乗り越える努力や工夫」「失敗にもめげずあきらめなかった経験」等がある人は、就職活動の場で高く評価されています。大学時代に積極的に様々な経験を積んでいれば、応募書類や面接等での大学時代の取り組みについての質問にも臆することはありません。

「大学時代にはこれに力を入れた」と言えるものをぜひ持ちましょう。そして、その経験や他者との関わりの中で、自分自身の強みや弱み、大切にしている価値観などに気付いていきましょう。

公務員を目指す人は早目の取り組みが成功のカギ

公務員就職を目指す皆さんは、民間企業への就職を目指す場合に比べ、早い段階から計画的に筆記試験対策の勉強を進める必要があります。民間企業が応募書類や面接を重視することが多いのに対し、公務員試験は筆記試験を通過しなければ面接試験に進むことができません。出題範囲も広く問題数も多いので、計画的な受験勉強が欠かせません。苦手科目や自分の専門以外の科目への対策なども考えると、できるだけ早く目標を定めて取り組むのがポイントです。

本学では、公務員対策講座（学外実施の場合もあり）を紹介しており、開講前には全学年を対象としたガイダンスを実施します。公務員に関心のある皆さんは、早い段階からこのガイダンスにも参加し、公務員試験についてよく知るとともに、早目に対策を立てましょう。

卒業までのキャリア・

1年生		
前期	準備期	新入生ガイダンス キャリア支援講座 「これからの学生生活」
後期		キャリア支援教育科目 「女性とキャリア」
大学生活4年間をどのように過ごし何を学びたいですか？　学業、留学、サークル・ボランティア活動、アルバイト、資格取得など興味が持てることをどんどん見つけて「チャレンジしてみる」「打ち込んでみる」、これが将来に繋がる第一歩です。		

2年生		
前期	準備期	在学生ガイダンス キャリア支援講座 ビジネスマナー講座 職業興味検査 就職基礎力養成講座
後期		
入学後の1年間を振り返り、2年目の過ごし方を考えましょう。社会に出るために役立つ基礎講座や職業興味検査も行ないます。ぜひ参加しましょう。資格の取得は、2年生のうちに受験できるよう準備しましょう。		

3年生（2020年		
4月	準備期	就職説明会スタート ※就職支援行事予定の発表
5月		藤女子大学キャリアナビ （F-NAVI）登録
6月		インターンシップ募集 自己分析講座 ビジネスマナー講座 〈就職サイトオープン〉
7月		インターンシップ参加準備講座 グループディスカッション講座
8月		インターンシップ参加
9月		エントリーシート対策講座
10月～		業界研究会など

【インターンシップ】6月～

学生が企業で研修生として働き、仕事を体験できる制度。参加には十分な準備が必要です。

【自己分析】6月～

まず自分の特徴を知ることが就職活動の基本。強み・弱み、能力など、これまでの学生生活を振り返り把握しましょう。

【業界・企業・仕事研究】7月～

業界・企業・仕事にどのようなものがあるか？どういう仕事・職場なら自分を生かせそうか？自己分析と並行して研究しましょう。

就職支援スケジュール

※〈 〉は学外の動き

3月卒業予定者）		
11月	スタート期	グループディスカッション講座
12月		業界研究会
1月		企業研究会 先輩報告会 OG懇談会
2月		企業研究会 面接対策講座
3月	本格期（一般企業）	〈エントリースタート〉 〈合同企業説明会〉 公務員（資格職）対策講座スタート

【筆記試験対策】10月～

SPI3、CAB、GAB、一般常識など、企業によって必要とされる試験は様々。どのような試験を受けなければならないかを調べ、問題集に取り組みましょう。

【会社説明会・セミナー】2019年3月～

仕事の内容だけではなく会社の雰囲気などもつかめるチャンス。積極的に質問してみましょう。

【エントリーシート提出】2019年3月～

企業独自の履歴書であるエントリーシート。「自己PR」「学生時代に力を入れたこと」「志望動機」などが問われます。

【選考開始・内定ピーク】2019年6月～

面接は自分自身を売り込む就職試験最大の山場。マニュアルの丸暗記ではない素の自分をアピールし、どれくらい会社に貢献できるかを知ってもらいましょう。

4年生（2019年3月卒業予定者）		
4月	一般企業への応募ピーク	〈公務員試験スタート〉
5月		〈企業応募書類提出ピーク〉
6月	採用試験ピーク・内定	〈面接スタート〉
7月		〈教員採用試験〉
9月		〈公務員（資格職：栄養士・保育士）試験〉
10月		〈企業正式内定〉
1月		〈社会福祉士国家試験〉
3月		卒業式 〈管理栄養士国家試験〉

【選考開始】6月～

面接は自分自身を売り込む就職試験最大の山場。
マニュアルの丸暗記ではない生の自分をアピールし、どれくらい会社に貢献できるかを知ってもらいましょう。